



# 研究の手立て



	低学年	中学年	高学年
もつ手立て	<p>問題を理解し、考える基礎になる力を基に、自分なりの考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 分かっている値、聞かれていることを囲んだり線を引いたりする。</li> <li>• くり返し読んだり、キーワードを押さえたり、全体で確認する時間を設ける。</li> <li>• 既習事項を掲示して、活用できるようにする。</li> <li>• 身近な体験や生活上の経験と結び付けて考えさせる。</li> </ul>	<p>問題を理解し、今までとの違いに気付き、既習事項を使って考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 既習事項を整理させる。</li> <li>• 問題文を短文で区切り内容を整理する。</li> <li>• 図を比べさせ、なぜこの図になったのかを考えさせる。</li> <li>• デジタル教科書を活用し、数字が移動している様子を基に考える。</li> <li>• 遅いクラスは線分図を活用し理解させる。</li> </ul>	<p>問題を理解し、今までとの違いに気付き、既習事項を使って多様な考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前時の復習問題をやる。</li> <li>• 前時の要点を板書する。</li> <li>• 問題文に分かること、考えることに線を引く。</li> <li>• 既習事項で関連する内容についてまとめたものを掲示する。</li> <li>• レディネスで把握した実態に合わせて、単元に入る前に復習する。</li> <li>• 習熟度に合わせてどの問題を扱うか吟味する。</li> </ul>
表現する手立て	<p>考えの表し方を知り、簡単な理由をつけて表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 決まった話型を提示して考えさせる。(フローチャートを活用する。)</li> <li>• 具体物を操作して考える。</li> <li>• 子供の発表方法で良かったものを全体で評価する。</li> <li>• 絵や図を用いて考えさせる。</li> <li>• 算数の用語をしっかりと理解させる。</li> </ul>	<p>理由を基に、図や式などで、分かりやすく自分の考えを表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 図、絵に表したものをテレビに表示。</li> <li>• 表現するものは設定せず、図、絵、表など自分の表したいものを書かせる。</li> <li>• ペアワークをする際に友達と相談してから自信をつけ発表させる。</li> <li>• 教科書の考えを基に一緒か一緒ではないかで考えさせる。</li> </ul>	<p>理由を明確に、図や式、言葉など、多様な方法で表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 式だけでなく、図、言葉などでも考えられるよう声を掛ける。</li> <li>• どんな図を描けばよいのか、黒板にある程度描く。</li> <li>• 個別にやりとりする中で気付いたことを、ノートに書くように促す。</li> <li>• 友達に説明するときはどうするか声を掛ける。</li> <li>• かけている子がいることを周りに伝える。</li> </ul>
学び合う手立て	<p>自分の考えを発表し、友達の考えと比べながら聞くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 話し方、聞き方の指導を教科横断的に行う。</li> <li>• 少人数での発表の経験を増やす。</li> <li>• 書画カメラを含む ICT 機器を活用する。</li> <li>• ハンドサインを活用する。</li> <li>• 共通点や違いを全体で確認する時間を設ける。</li> </ul>	<p>自分の考えと友達の考えを比べ、共通点や違いに気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供たちの考えを出し合わせて似ているものと違うもので分類させる。</li> <li>• 全体に問いかけ、反応を求める。(一緒、付け足しなど)</li> <li>• 友達と違うところがあっても否定せず、考えたこと自体を褒め共通点に視点を向けさせる。</li> <li>• 回答を二択や部分で発表させることにより発言しやすくする。</li> <li>• ノートをお互いに見合い共通点を探す。</li> </ul>	<p>友達の考えを理解し、自分の考えと比べて認め合うとともに、共通点や違いに気付き、よりよい方法を見つけることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小グループ→全体で交流する。</li> <li>• 歩いて自由に全体交流する。</li> <li>• ホワイトボードを使って、グループで「わかりやすいもの」を書く。</li> <li>• ボードを黒板にはる時に、考えごとに整理していく。</li> <li>• 意図的に指名して説明する場を作る。</li> <li>• ボードに書いた子ではなく、他の子に説明させるようにする。</li> <li>• ノートの写真をとって紹介する。</li> </ul>